

もおか



編集/発行：真岡市教育委員会学校教育課教育政策係 〒321-4395
TEL：0285-81-9052 FAX：0285-83-4070 栃木県真岡市荒町5191番地

バックナンバーはこちらから！



目次	P1 もおかライブラリー教室	P2 コミュニティ・スクール 真岡市の文化財	P3 英語の先生たちのおしごと	P4 学校紹介 (大内西小学校) 学校における働き方改革
----	----------------	---------------------------	-----------------	---------------------------------

もおかライブラリー教室

「もおかライブラリー教室」は、学校以外の学びの場として平成6年4月に開設しました。自己有用感や自己肯定感を高めるとともに自立心や社会性を育て、将来の社会的自立を支援する施設です。本教室では、児童生徒一人一人に寄り添い、個別学習や小集団学習、体験活動、教育相談を通して、自信をもって学校生活や社会生活ができるようお手伝いしています。

室長から

通室している子どもたちは、様々な活動を通して心の元気を蓄えています。ここでの活動が一步踏み出す勇気につながることを願っています。お気軽にご相談ください。

【ライブラリー教室の一日】

- 朝の読書
- 個人の時間(自分のペースで学習)
〈昼食・休憩〉
- 活動の時間(小集団活動)
絵画・書道・手芸・調理・
スポーツレクリエーション等
※ボランティア指導員にもご協力
いただいています。

「真岡教室」

所在地：田町1344番地
(青年女性会館内1F)
通室や見学を希望される方は学校へご連絡ください。
後日、日時をご連絡いたします。

【学習室・活動室】

学習室はパーティションで区切られ、一人一人のスペースで静かに学習できます。広い活動室もあり、みんなで、様々な体験活動を行っています。



学習室



活動室

担当教諭・ 教育相談員から

学校以外の居場所として、心おだやかに、日々を楽しく過ごしてほしいと願っています。人と関わりながら、様々な体験ができる場となっています。学校と連携しながら支援していきます。



作品展

(子どもたちが来場者への説明・案内をしています。)

令和6年4月 もおかライブラリー教室 「二宮教室」を開設します

二宮コミュニティセンター内に開設されます。これまで「真岡教室」から自宅が遠く、通室が難しかった児童生徒も、利用しやすくなります。

コミュニティ・スクール を順次導入します



真岡市では、地域とともにある、特色ある学校づくりをさらに広げるため、令和6年度から市内の小中学校へ順次コミュニティ・スクールの導入を進め、令和8年度までに全校へ導入する予定です。



学校運営協議会では活発に意見が交わされます



コミュニティ・スクールとは

学校と地域、保護者の方々に構成された、「学校運営協議会」を設置した学校のことです。

コミュニティ・スクールは、学校運営に地域や保護者の方々が参画することを通じて、学校・家庭・地域の関係者がビジョンや目標を共有し、学校の教育方針や教育活動の実践に地域のニーズを反映させ、地域ならではの特色ある学校づくりを進めるための取り組みです。



パパさん学校応援隊

本市では、令和4年度より真岡東中学校へコミュニティ・スクールを導入しています。

真岡東中学校では、地域・保護者・学校の代表が、育てたい子どもの姿を共有して話し合い、「地域とともにある学校」を目指した取り組みを進めています。

また、真岡東中学校は、学校支援ボランティアの活動が活発で、多岐に渡っていることが特色です。多くの保護者や地域の方々が学校を訪れ、生徒や教職員と接する機会が増えることで理解が深まり、地域と学校との連携・協働が進められています。

今後も、コミュニティ・スクールに関する各学校の取り組みを随時お知らせしていきます。



読み聞かせボランティア



制服リユースボランティア



地域の方と生徒とが触れ合う機会も増えています

—真岡市の文化財— NO.5

縄文時代の遺跡

縄文時代は、狩りや漁労(ぎょろう)、木の実等の植物の採集により生活していた時代です。真岡では、鬼怒川・五行川・小貝川などの川の近くの高台で縄文時代の遺跡が見つかっています。

縄目と複雑な文様(もんよう)が縄文土器の特徴であるほか、石の道具や土を焼いて作った道具など、縄文時代の道具はバリエーションが豊富です。もし道ばたや畑で土器のかけらや石の矢尻(やじり)、石の斧などが拾えたら、その地面の下には縄文時代の遺跡があるかもしれません。



城内遺跡(台町)出土の縄文土器



西念寺(東大島)の石棒(真岡市指定文化財)



畑に落ちていた石の矢尻と斧

英語の授業を支える先生たちの お・し・ご・と

真岡市には児童生徒が英語を好きになり、英語を用いて豊かにコミュニケーションできるようになることを願い、協力して授業を進めている先生たちがいます。ここでは、その先生たちを紹介します。

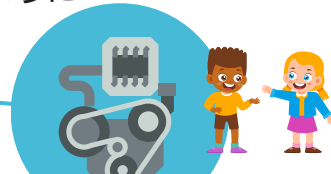
子どもが英語でコミュニケーションを楽しめるように



教師

英語の学習や活動の効果的な計画と指導をし、子どもの学びを支えています。支援者と協力し授業を進めています。

子どもが英語を好きになるように



AET（外国人指導助手）

教師と協力して、英語でのコミュニケーションや異文化への理解が深まるよう、授業支援や環境整備をしています。

子どもが英語を安心して学べるように



JTE（外国語活動支援員）

教師と協力して英語でのコミュニケーションの楽しさを伝え、効果的なプランやプリントを作成、支援しています。

子どもの学びが豊かになるように



英語指導力向上専門員

小学校の授業力向上を目指して、教師、AET、JTEの指導をしています。小学校の英語教育をけん引しています。

英語を使いながら人や世界とつながる楽しさを伝え、学びを支えるおしごと

真岡っ子たちが楽しみながら英語を使って実際にコミュニケーションし、異なる文化を学び、豊かに人間性を伸ばしていけるようお仕事をしているのが、教師、AET、JTE、英語指導力向上専門員です。

子供たちは学んだ英語を使い、コミュニケーションができるようになることを目指して学んでいます。そのため、授業では英単語や表現を覚える学習活動に加えて、実際のコミュニケーション場面で、英語を用いて自分の考えや思いを伝え合う言語活動を通して学んでいます。

真岡市の英語教育を支える取り組み

- 市内全14小学校の外国語活動（1～3年生）の全ての授業にJTEを支援員として派遣しています。
- 市内全小学校の外国語活動（4年生）と外国語科（5・6年生）の全ての授業にAETを指導助手として派遣しています。
- 市内全小学校に英語指導力向上専門員を派遣して教師、AET、JTEの指導力向上に向けて支援をしています。
- AETを全9中学校に常時、配置しています。
- AETを全4保育所に週1か所ずつ、巡回で派遣しています。





大内西小学校

— 教育目標 —
 進んで学習する子ども (知)
 思いやりのある子ども (徳)
 元気でがんばる子ども (体)



さいこうちゃん 大内西小のHP



旧校舍 (明治43年頃)

大内西小学校は「いつも笑顔あふれる楽しい学校」を合言葉に、「さいこうのこ」を目指して「青於(せいお)」の精神のもと教育活動を実践しています。今年度は創立150周年を迎え、児童と保護者による「150周年の木」の共同制作、地域の方や卒業生も参加していただいた航空記念写真撮影、縦割り班(1~6年生)で地域探索した150周年記念遠足などの記念事業を学校支援ボランティア「さいこうクラブ」協力のもと行いました。また、さつまいもの苗植えや収穫などの農業体験を通じて真岡北陵高校と交流しています。地域とともにある学校づくりを推進し、学校、地域、保護者が一体となって「さいこうのこ」の育成を図っています。



150周年の木制作



150周年記念植樹



150周年記念航空写真



150周年記念遠足



さいこうクラブペンキ塗り



ICTを活用した授業



運動会 (応援団)



農業体験 (真岡北陵高校)

—学校における働き方改革を推進しています—



真岡市の学校における働き方改革はこちら

市内小中学校の取組を紹介します

教員業務支援員の配置

学習プリントの印刷・配布準備、来客・電話対応、休み時間の子供の見守り、学校行事の準備補助等を行っています。



留守番電話の全校設置

今年度、市内全ての学校に留守番電話を設置しました。夕方決められた時刻になると留守番電話に切り替わります。

緊急時には、学校で指定された緊急連絡先にご連絡ください。

登下校に関する対応

下校時に教員が付き添って指導する範囲を縮小したり、朝の交通指導の回数を見直したりしています。

地域の皆様の「ながら見守り」やスクールガードなどにご協力ください。

教育の質を高める勤務環境の改善に向けて、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします



もう一步努力するところ

おもいやりのところ

かんじ、考え、学ぼうとするところ

皆様のご意見、ご感想をぜひお寄せください。アンケートはこちらから！
 「教育委員会だより 第9号」は7月発行予定です。

